

岩手県企業短期経済観測調査結果（2009年6月）

調査対象企業数 62 社：回答数 62 社（製造業 25 社、非製造業 37 社）、回収率 100%
回答期間：5月下旬～6月下旬

1. 業況判断

調査対象先の業況判断指数（D.I.）は、製造業が横ばい、非製造業が悪化した。先行きについては、製造業が改善、非製造業が横ばいを予測。

業種別にみると、製造業では、受注の落ち込みから、窯業・土石、一般機械が悪化した。在庫調整の進展や受注の持ち直しから、電気機械が改善したため、全体では横ばい（前回 52 今回 52）。先行きについては、海外経済の回復や公共工事の増加への期待から、精密機械や窯業・土石が改善すると予測しており、全体では「悪い」超幅が縮小（52 予測 48）。

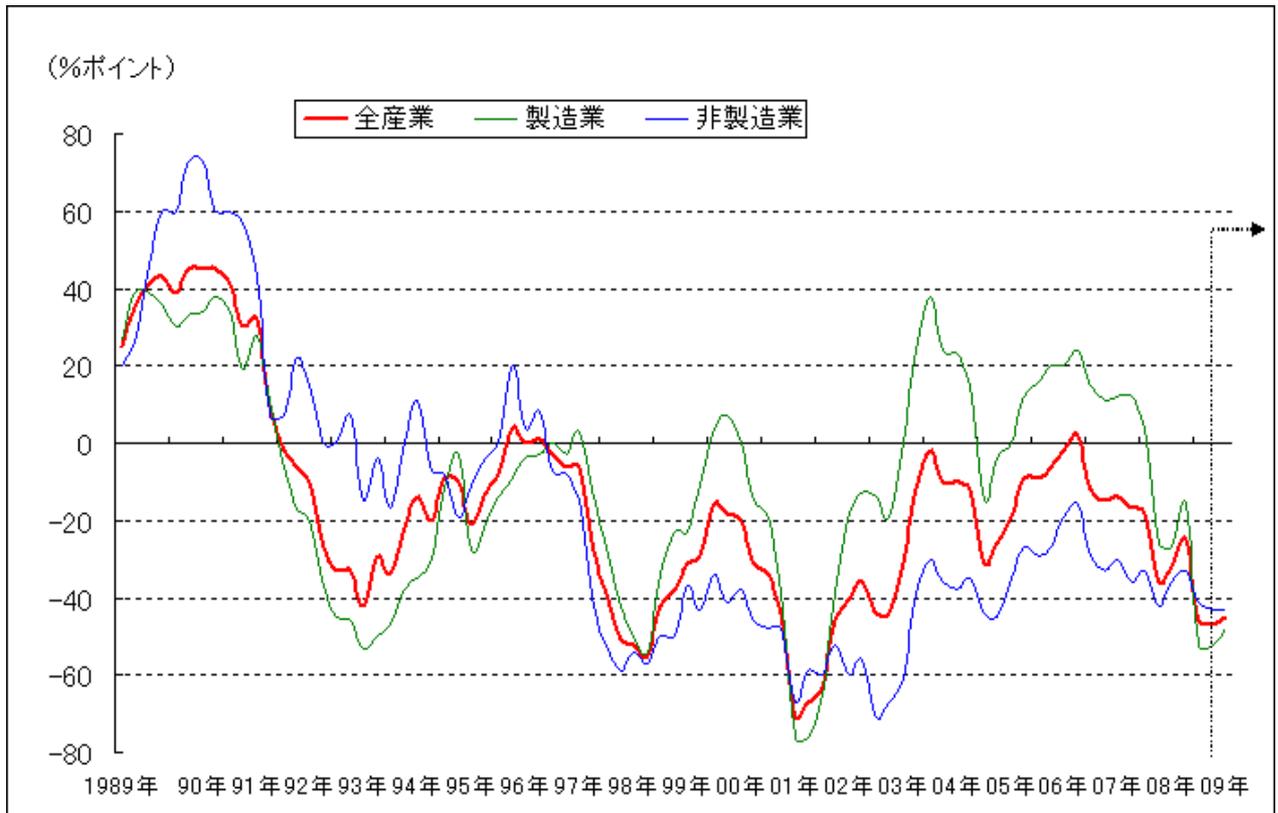
非製造業では、販路拡大による売上の増加や仕入価格の低下から、卸・小売、運輸が改善したが、民間工事や広告収入の減少などから、建設、情報通信、鉱業が悪化したため、全体では「悪い」超幅が拡大（前回 41 今回 43）。先行きについては、燃費の上昇を懸念して、電気ガスが悪化するものの、政策効果による売上の回復を期待して、卸・小売が改善することから、全体では横ばいの予測（43 予測 43）。

（業況判断 D.I. の推移）

（「良い」 - 「悪い」）回答社数の構成比、%ポイント。（ ）内は前回予測。

	08/3月	6月	9月	12月	09/3月	6月	9月 (予測)
製造業	4	26	27	16	52	52(52)	48
素材業種	29	57	57	0	50	67(33)	50
加工業種	16	16	15	21	53	48(58)	47
食料品	20	20	20	20	20	20(0)	0
電気機械	17	67	50	50	67	33(67)	33
非製造業	33	42	36	33	41	43(49)	43
建設	31	50	40	20	33	40(46)	40
卸・小売	38	29	14	29	71	57(57)	43
全産業	18	36	32	25	46	47(50)	45

〔図〕業況判断D.I.の推移



(参考) 東北地区(6県)及び全国の業況判断D.I.の推移 ()内は前回予測。

		08/3月	6月	9月	12月	09/3月	6月	9月 (予測)
製造業	岩手	4	26	27	16	52	52(52)	48
	東北	4	12	16	30	60	51(57)	36
	全国	2	3	11	25	57	55(59)	44
非製造業	岩手	33	42	36	33	41	43(49)	43
	東北	28	33	34	37	46	47(49)	43
	全国	7	10	16	23	38	39(46)	37
全産業	岩手	18	36	32	25	46	47(50)	45
	東北	18	24	27	34	52	49(53)	40
	全国	4	7	14	24	46	45(52)	41

2. 売上高・収益（2009年度計画）等

2009年度の売上高、経常利益は、製造業が減収黒字転化、非製造業が減収増益の計画。

製造業では、最終消費の回復に時間がかかるとの見通しから、売上が前年度比1割強の減収計画ながら、経常利益は、経営効率化の推進によるコスト削減などから黒字転化の計画。非製造業は、建設需要の低迷等から前年度比1割弱の減収ながら、仕入価格の低下や経費削減策の奏効から前年比6割方の増益計画。

（売上高・経常利益）

上段：前年同期比・%、下段（ ）：前回調査比修正率・%

	2008年度 (実績)		2009年度 (計画)					
	売上高	経常利益	売上高			経常利益		
			年度	上期	下期	年度	上期	下期
製造業	19.4	欠損	11.3	33.2	21.6	利益	71.2	利益
	(0.4)		(3.3)	(6.1)	(0.8)	(62.6)	()	(35.1)
	素材業種	2.3	欠損	6.0	9.5	2.5	利益	利益
	(0.9)		(0.7)	(1.5)	(0.1)	(17.0)	(34.0)	(8.3)
加工業種	20.0	欠損	11.5	34.1	22.9	利益	51.6	利益
	(0.4)		(3.4)	(6.4)	(0.8)	(2.1倍)	()	(45.1)
非製造業	3.5	39.3	6.8	4.3	8.5	57.4	欠損	18.2
	(0.7)	(9.7)	(2.5)	(1.7)	(3.1)	(13.4)	()	(36.2)
	建設	1.8	46.3	16.1	11.5	18.3	15.5	欠損
	(2.7)	(9.1)	(6.7)	(7.1)	(6.6)	(26.9)	()	(29.9)
卸・小売	5.3	17.8	0.1	1.9	2.1	27.9	3.4倍	2.9
	(1.1)	(13.2)	(0.7)	(0.6)	(0.8)	(7.6)	(19.8)	(1.8)
全産業	14.0	欠損	9.6	24.5	7.4	利益	利益	利益
	(0.5)		(3.0)	(4.4)	(1.7)	(7.9)		(35.9)

製商品・サービス需給判断（D.I.、全産業）は「供給」超幅が縮小、製商品在庫判断（同）は「過大」超幅が縮小。仕入価格判断（同）は「下落」超幅が拡大、販売価格判断（同）も「下落」超幅が拡大。

（判断D.I.）

全産業ベース、回答社数の構成比、%ポイント

		08/3月	6月	9月	12月	09/3月	6月	9月 (予測)
製商品・ サービス需給	「需要超過」「供給超過」	41	40	44	46	54	46(50)	49
	「過大超過」「不足超過」	22	14	13	17	20	17()	
仕入価格	「上昇」「下落」	51	65	60	16	3	13(10)	5
販売価格	「上昇」「下落」	20	1	5	13	31	35(36)	35

3. 設備投資額（2009年度計画）等

2009年度の設備投資計画（ソフトウェア投資を除く）は、製造業が前年度比ほぼ半減、非製造業が前年度比 6%の減少。

製造業では、受注低迷の長期化を懸念して投資案件を絞り込む動きが広がっており、2年連続の大幅減少の計画。一方、非製造業では、デジタル放送対応から情報通信が前年度を大幅に上回る計画となっているが、建設、サービスなどを中心に慎重なスタンスの先が多く、全体では前年度を下回る計画。

（設備投資額[ソフトウェア投資を除く]） 上段：前年同期比・%、下段（ ）：前回調査比修正率・%

	2008年度 (実績)	2009年度(計画)		
		年度	上期	下期
製造業	40.8 (0.2)	52.8 (2.6)	58.6 (15.1)	41.1 (20.2)
素材業種	45.2 (7.4)	33.5 (0.0)	14.5 (0.0)	68.0 (0.0)
加工業種	40.6 (0.4)	53.5 (2.8)	60.3 (16.3)	39.2 (20.8)
非製造業	25.8 (8.3)	5.7 (1.5)	14.0 (1.6)	19.6 (4.7)
建設	11.9 (13.4)	73.5 (10.4)	82.6 (21.7)	57.2 (0.0)
卸・小売	48.2 (11.1)	23.1 (0.0)	59.1 (0.0)	65.1 (0.0)
全産業	39.5 (0.7)	47.8 (1.9)	53.6 (11.9)	37.3 (15.7)

生産・営業用設備判断(D.I.)をみると、製造業は横ばい、非製造業は「過剰」超幅が拡大。

（生産・営業用設備判断D.I.） （「過剰」 - 「不足」）回答社数の構成比、%ポイント

	08/3月	6月	9月	12月	09/3月	6月	9月 (予測)
製造業	11	7	15	19	44	44(40)	40
非製造業	7	13	8	8	11	14(16)	16
全産業	9	11	11	13	24	26(26)	26

4. 雇用人員判断

雇用人員判断(D.I.)をみると、製造業は「過剰」超幅が縮小、一方、非製造業は「過剰」超幅が拡大。先行きについては、製造業は横ばい、非製造業は「過剰」超幅の拡大を予測。

(判断D.I.) (「過剰」「不足」) 回答社数の構成比、%ポイント

	08/3月	6月	9月	12月	09/3月	6月	9月 (予測)
製造業	15	19	11	7	44	40(60)	40
非製造業	5	18	19	13	5	16(21)	21
全産業	9	19	16	11	21	25(37)	29

5. 企業金融関連判断

企業の資金繰り判断(D.I.、全産業)は、「苦しい」超幅が縮小。金融機関の貸出態度判断(同)は、「厳しい」超幅が縮小。

借入金利水準判断(同)は横ばい、先行きは「上昇」超の予測。

(判断D.I.) 全産業、回答社数構成比、%ポイント

		08/3月	6月	9月	12月	09/3月	6月	9月 (予測)
資金繰り	「楽」「苦しい」	15	18	25	28	30	27()	
金融機関 貸出態度	「緩い」「厳しい」	3	2	7	8	16	9()	
借入金利 水準	「上昇」「低下」	22	22	13	3	17	0(2)	10

以上

本件に関する問い合わせ先
 日本銀行盛岡事務所
 TEL : 019-624-3622 (代)
<http://www3.boj.or.jp/morioka/>